

第二次長野市環境基本計画後期計画 平成30年度の取組結果表

基本目標	コード	指標名	担当課等	計画目標値 (R3年度)	H29年度			H30年度			是正計画(R元.5作成)		監視項目(155項目)中の 遅れ気味・遅延の施策
					目標値	実績	目標達成	目標値	実績	目標達成	原因	是正計画	
① 循環型社会の実現	11	ごみの総排出量(t)	生活環境課	124,724t	127,683	128,314	×	128,314	125,811	○		全35項目(遅れ気味 なし)	
	12	市民の一人1日当たりのごみ排出量(g/人・日)	生活環境課	411g/人・日	425	421	○	421	420	○			
	13	事業系ごみ年間排出量(t)	生活環境課	39,757t	40,036	39,605	○	39,605	39,115	○			
	14	マイバック持参率(%)	環境保全温暖化対策課 生活環境課	80.0%	68.4	60.3	×	70.0	67.5	×	主な活動として、毎月5日にノーレジ袋デーとしてスーパー等で店頭啓発を定期的に行っている。しかし、曜日や時期によっては、来客数が少なく、店頭啓発の効果が薄いため、前年度の60.3%を超えたが目標達成に至らなかった。		店頭啓発の実施を毎月5日という日にちに限らず、来客数が多い時を見計らい、効果的な店頭啓発を実施していくとともにレジ袋の環境への影響について啓発し、マイバック持参率を上げる。
② 良好な生活環境の保全	21	大気環境基準達成項目数(項目)	環境保全温暖化対策課	15項目	15	15	○	15	15	○		全16項目(遅れ気味 1項目)  ・まちなみ美化の推進 →夜間パトロールの実施や商工団体等の協働で街頭啓発等を行い、増加傾向にあったポイ捨て件数に歯止めをかけることはできたが、目標達成には至らなかった。	
	22	市内中小河川13河川のBOD平均率(mg/l以下)	環境保全温暖化対策課	2.0mg/l以下	2.0	1.4	○	2.0	1.6	○			
	23	地区環境美化活動のごみ回収量(kg)	環境保全温暖化対策課	21,500kg	24,800	16,170	○	21,500	16,574	○			
	24	ポイ捨て吸い殻本数(月平均本数:長野大通り10か所)(本)	環境保全温暖化対策課	70本	70	116	×	70	117	×	巡回指導員による夜間パトロールや、職員等による指導・啓発活動を実施したが、ポイ捨てをする者に浸透せず、目標達成に至らなかった。		引続きポイ捨て、歩行喫煙者に対し直接注意・指導を行うなど、粘り強い周知啓発活動を行い、ポイ捨てや歩行喫煙をさせない市域全体の雰囲気づくりを目指す。
③ 豊かな自然環境の保全	31	豊かな自然環境が保たれている(%)	環境保全温暖化対策課	73.6%以上	73.6	71.6	×	73.6	69.1	×	外来種駆除などの保全活動や自然を活用したイベントを実施し、その様子を周知することにより市民の豊かな自然環境に対する関心向上を図ったが、目標達成に至らなかった。	全23項目(遅れ気味 1項目)  ・森林の安定的かつ健全な利用の推進 →林道・林業専用道開設は、国の補助内示額減により全体計画が遅れている。	
	32	間伐面積(累積面積)(ha)	森林整備課	9,500ha	7,438	7,320	×	7,838	7,636	×	国の造林補助事業(間伐事業)の制度が、切り捨て間伐から搬出間伐に移行となる大きな見直しがあった中、林業事業者等において事業計画の大幅見直し、作業地や作業方法の検討が行われ事業を進めているが目標達成に至らなかった。		引き続き、林業事業者等と協力し、作業地の掘り起しや作業方法等の検討を進めて行くとともに、国や県の税事業を始めとする新たな事業等を活用していく。また、森林組合等を通じて森林所有者(組合員)へのPRを行い、事業を通じ森林の多面的機能を伸ばしていく。
	33	森林体験参加者数(年間人数)(人)	森林整備課	2,150人	2,150	2,729	○	2,150	2,167	○			
	34	エコファーマーの認定者数(人)	農業政策課	1,089人	1,049	813	×	882	488	×	認定機関である県と協力して新規及び更新の申請を呼びかけたものの、認定から5年経過後の失効者が多数に上り、目標達成に至らなかった。		農業委員会や農業青年協議会の勉強会等で、引き続き認定制度の周知を図るとともに、農業研修センターにおいて肥料や農薬の低減など環境にやさしい農業講座(2月予定)を実施し、農業者の自主性も尊重しながら認定者数の増加を図っていく。

○ 平成30年度目標値を達成  
× 平成30年度目標値が未達成

基本目標	コード	指標名	担当課等	計画目標値 (R3年度)	H29年度			H30年度			是正計画 (R元.5作成)		監視項目 (155項目) 中の遅れ気味・遅延の施策
					目標値	実績	目標達成	目標値	実績	目標達成	原因	是正計画	
④ 豊かで快適な環境の創造	41	市民一人当たりの都市公園面積 (都市計画区域内) (㎡)	公園緑地課	9.19㎡	7.63	7.68	○	7.68	7.73	○		全24項目 (遅れ気味 なし)	
	42	市内中小河川9河川の水質階級 (点)	環境保全温暖化対策課	11点	11	10	○	11	9	○			
	43	景観やまちなみが美しい地域である (%)	都市政策課	62.2%以上	58.2	55.4	×	59.2	54.8	×	景観賞の募集や、景観賞・ながの百景めぐりの実施など行政による景観啓発活動のほか、市民団体による景観向上やまちなみ保全の活動は各地で行われているが、全市を対象にしたアンケートでは市民の景観に対する関心向上は見られず、目標達成に至らなかった。		H30.10.1から改正景観計画を施行した。景観を阻害するような建築物や工作物を、届出制度や事前協議制度により周辺の景観と調和するよう誘導し、市民の景観への満足度向上を図る。啓発事業として、景観賞・ながの百景めぐりを年3回実施するとともに、市民自らが景観を体感し、楽しみ、景観の大切さや重要性を学ぶことができる参加型講習会的なものを新たに開催することにより、市民自身が住む周辺の景観への関心向上を図っていく。
⑤ 低炭素社会の実現	51	温室効果ガス年間排出量 (t-CO2)	環境保全温暖化対策課	1,878,400 t-CO2	1,991,700 (H26)	2,311,778 (H26)	×	*1,975,500 (H27)	2,230,348 (H27)	×	電力及びガス等のエネルギー使用量は年々減少してきており、市域の温室効果ガス排出量も減少している。しかし、温室効果ガス排出量を算定するための電力の排出係数が基準年に比べ高い値で推移しているため、目標達成に至らなかった。(電力排出係数 H24年度(基準年)0.373 H27年度 0.482)	<b>全40項目 (内 再掲18項目) (遅れ気味 内 再掲1項目)</b> <b>・(再掲：森林の安定的かつ健全な利用の推進)</b> →林道・林業専用道開設は、国の補助内示額減により全体計画が遅れている。	
	52	市民一人1日当たりの温室効果ガス排出量 (kg-CO2)	環境保全温暖化対策課	14.08 kg-CO2	14.45 (H26)	16.77 (H26)	×	*14.39 (H27)	16.18 (H27)	×	電力及びガス等のエネルギー使用量は年々減少してきており、市民一人1日当たりの温室効果ガス排出量も減少している。しかし、温室効果ガス排出量を算定するための電力の排出係数が基準年に比べ高い値で推移しているため、目標達成に至らなかった。(電力排出係数 H24年度(基準年)0.373 H27年度 0.482)		
	53	太陽光発電設備規模 (累計) (kW)	環境保全温暖化対策課	160,000kW	110,000 (H28)	113,177 (H28)	○	*120,000 (H29)	127,669 (H29)	○			
	54	木質バイオマス燃料需要量の推計値 (t)	環境保全温暖化対策課	330,000t	230,000	245,420	○	255,060	292,795	○			
	55	再生可能エネルギーによる電力自給率 (発電設備容量) (%)	環境保全温暖化対策課	60.0%	45 (H28)	46.2 (H28)	○	*48 (H29)	49.5 (H29)	○			
⑥ 行政の連携強化と人づくりの推進	61	環境保全活動参加者数 (人)	環境保全温暖化対策課	4,700人	4,300	4,629	○	4,700	4,842	○		全17項目 (遅れ気味 なし)	
	62	環境学習会年間参加者数 (人)	環境保全温暖化対策課 家庭・地域学びの課	5,200人	5,200	5,159	×	5,200	7,222	○			

\* 平成30年度に報告できる実績に対する目標値  
○ 平成30年度目標値を達成  
× 平成30年度目標値が未達成

22指標中  
達成 12指標  
未達成 10指標

22指標中  
達成 14指標  
未達成 8指標

155項目中 (内 再掲18項目)  
順調・概ね順調： 152項目 (内 再掲17項目)  
遅れ気味： 3項目 (内 再掲 1項目)  
遅延： 0項目